

多様なしごとと創出プロジェクト

誰もがやりがいのある しごとづくり

若い人たちが青森県で安心して働くことができるよう、生活の基盤となる多様なしごとづくりに取り組みます。人手不足に対応し、誰もが働きやすい環境づくりや、AIやIoTなどの革新技术の活用によって業務の効率性を高める取組などを進めます。

主な取組

【ビジネス拡大のために】

- ◎AIやIoTを活用した新たなビジネスの創出に取り組みます。
- ◎県内企業と台湾企業とのマッチングや海外ビジネスへのチャレンジを応援します。
- ◎短時間で調理可能な食品の商品開発などを支援します。

【働く人のために】

- ◎就職を希望する人と人財を確保したい県内企業にワンストップで対応する総合支援センターを設置します。
- ◎ICT技術の活用による農林水産業、建設業などの業務効率化や省力化に取り組みます。



年間100名以上の方が
県内で創業スタート!
創業者数 (2014年度) 56人 → (2018年度) 126人

食と観光成長プロジェクト

「食」と「観光」でさらなる成長

本県が誇る「食」と「観光」のつながりを一層強め、本県の魅力を国内外に強力に発信することによって、知名度やブランド力を高め、「経済を回す」仕組みづくりのけん引役として、更なる成長をめざします。

主な取組

【食を売り込むために】

- ◎「青天の霹靂」「ジュノハート」をはじめ、県産品をさらに広く多くの方にPRし、ブランドの確立に取り組みます。
- ◎大手量販店等との通常取引の拡大、西日本エリア・アジアなどの国内外市場の販路拡大に取り組みます。

【観光客を増やすために】

- ◎国内・国際航空路線の充実・強化をめざします。
- ◎観光客が青森の夜を楽しむ新コンテンツの開発に取り組みます。
- ◎県内5美術館が連携したアートツーリズムを展開します。



5年半ぶりの新規国内定期路線
FDA青森-神戸線
就航決定
(2020年3月)

本県の農業算出額
4年連続3,000億円超え
東北では15年連続第1位

未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

誰もが安心して 暮らせる地域へ

誰もが生まれ育った地域で生きがいを持って働き、元気に老後を迎えられるよう、農山漁村などの集落を守り、地域に住む人たちがお互いに支え合い、安心して医療や保健サービスが受けられる環境づくりなどに取り組みます。

主な取組

- ◎見守り・買物・配食などの生活サービスの実施を支援するほか、市町村と地域住民のつなぎ役となる中間支援組織の活躍を促進します。
- ◎地域に「つどいの場」を増やすため、専門人材の育成や勉強会の開催に取り組みます。
- ◎高齢農家の方々の農作物の集荷や商品の配達を支援する仕組みづくりを進めます。
- ◎貧困などの課題を持つ子どもや保護者を支援するため、「子どもの居場所」づくりを進めます。
- ◎誰もが安心して移動・外出できる地域公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

高齢者や多くの世代が自由に集まれる
「つどいの場」設置数

522カ所 → 761カ所
(2017年) (2019年)



健康ライフ実現プロジェクト

元気で長生き 一人ひとりの健康づくり

県民の皆さんが心身ともに健康的な生活を送り、長生きできるよう、健康意識の向上、食生活や運動をはじめとする生活習慣の改善、こころの健康づくりなどに取り組みます。

主な取組

- ◎「上手な医療のかかり方」のPRに取り組みます。
- ◎だしのうま味で塩分控えめをめざす「だし活」と、野菜を食べて塩分を排出する「だす活」により、減塩対策を進めます。
- ◎喫煙・受動喫煙が健康に与える影響を広く県民の皆さんにお知らせします。
- ◎高齢者の居場所づくり支援、壮年期男性のメンタルヘルス対策、子ども・若者の相談支援など、こころの健康づくりに取り組みます。

減塩を推進する「だし活」と「野菜で健康大作戦」など健康づくりの普及啓発活動により
県民の野菜摂取量が増加!

